

一般講演

講演12分（1鈴10分、2鈴12分）、討論3分（3鈴15分）

第2日 3月31日（月） A 会場（209教室）

午前の部（9:00～11:30）

- 9:00 **A201** イミダクロプリドのプロドラッグ設計と薬理的挙動
○大野育也¹、平田晃一²、石田知春²、伊原 誠²、松田一彦²、利部伸三¹
（¹岐阜大・教育、²近大・農）
- 9:15 **A202** Chromene 環を有する新規昆虫成育制御物質の合成探索と生理活性
○古田賢次郎、西川誠志、山路英臣、藤田雄大、山田直隆、桑野栄一
（九大院・農）
- 9:30 **A203** テトラヒドロキノリン類縁体の合成および脱皮ホルモン受容体との結合親和性測定
○吉見一人、原田俊幸、小倉岳彦、中川好秋、宮川 恒（京大院・農）
- 9:45 **A204** ネットアイシマカ脱皮ホルモン受容体を用いたエクダイソンアゴニストのスクリーニング
○原田俊幸¹、吉見一人¹、宮川 恒¹、S. R. Palli²、中川好秋¹
（¹京大院・農、²ケンタッキー大）
- 10:00 **A205** 新規除草剤 HOK-201 に関する研究 第1報 関連化合物の合成および構造と活性
○木戸庸裕、沖田洋行、岡村充康、近藤 智、竹内 崇、森田 健
（北興化学工業（株））
- 10:15 **A206** 新規除草剤 HOK-201 に関する研究 第2報 水稻用除草剤としての作用特性
○岡村充康、近藤 智、本間百合子、竹内 崇、武富 巖、木戸庸裕、沖田洋行、森田 健（北興化学工業（株））
- 10:30 **A207** 根寄生植物の発芽刺激物質ストライゴラクトンの合成と生物活性
○広本 岬¹、田所栄里子²、杉本幸裕¹、滝川浩郷¹、三宅秀芳¹、佐々木満¹
（¹神戸大院・農、²神戸大院・自然科学）
- 10:45 **A208** ミトコンドリア複合体-I 阻害剤アセトゲニン類の作用機構研究 bis-THF 体と mono-THF 体の比較から
○安部真人¹、山本修平¹、真壁秀文²、西岡孝明¹、三芳秀人¹（¹京大・農、²信大・農）
- 11:00 **A209** ミトコンドリア複合体-I の新規阻害剤 Δ lac-アセトゲニンの合成と作用機構研究
○一丸直哉、村井正俊、西岡孝明、三芳秀人（京大院・農）
- 11:15 **A210** ミトコンドリア複合体-I 阻害剤の結合部位解明 -光親和性標識実験によるアプローチ-
○村井正俊、西岡孝明、三芳秀人（京大院・農）

午前の部(9:00~12:00)

- 9:00 **B201** 水稲育苗期防除剤の後作野菜での農薬残留
○中野亜弓、折坂光臣(岩手農研センター)
- 9:15 **B202** キュウリ栽培における土壌残留性農薬の吸収抑制技術の開発
活性炭による吸収抑制効果の限界とキュウリの吸収特性
○梁瀬正裕、岡本真理(山形農研センター)
- 9:30 **B203** 残留性有機汚染物質を効率よく蓄積するズッキーニにおけるダイオキシン類の
吸収・移行メカニズム
○乾 秀之¹、若井丈人²、祇園景子¹、金 倫碩³、殷 熙洙³
(¹神戸大・遺伝子実験セ、²神戸大院・自然科、³農環研)
- 9:45 **B204** 水稲用農薬の露地野菜へのドリフト調査
○青木こずえ、市原 勝(高知農技セ)
- 10:00 **B205** SSで散布した隣接園からのウメに対するドリフトと残留への影響
○西川 学、小走善宣、林 良孝(奈良農総セ)
- 10:15 **B206** ジチオカーバメート剤のマンガン分析による農薬ドリフトの評価法およびカン
キツ園におけるドリフト量の推定
○市川 健¹、影山智津子¹、吉川公規¹、中村明弘¹、竹川幸子²
(¹静岡農林技研・果樹研セ、²静岡西部農林)
- 10:30 **B207** 薬液変色紙を用いた農薬の漂流飛散の簡易評価法(第2報)
○清水克彦、望月 証(兵庫農水技総セ)
- 10:45 **B208** シュンギクにおける農薬残留濃度予測
○島本文子¹、稲生圭哉²(¹高知農技セ、²農環研)
- 11:00 **B209** アセフェート剤処理後の緑化樹葉中のアセフェート、メタミドホス残留量分析
の試み
○中嶋智子¹、都築英明²、徳丸 晋¹、上山 博³、塩崎秀彰²
(¹京都農総研、²京都保環研、³京都府病虫害防除所)
- 11:15 **B210** 殺ダニ剤シエノピラフェン及び代謝物の作物残留分析
○黒須和秋¹、山本富子¹、鈴木俊広¹、鬼塚 博²
(¹日産化学工業(株)生物科学研、²同物質科学研)
- 11:30 **B211** LC-MS/MSによるコマツナおよび土壌に残留するジノテフランの分析
○池田悠里¹、滝埜昌彦²、橋本良子¹
(¹東京農総研セ、²アジレント・テクノロジー(株))
- 11:45 **B212** パッシブサンプラーを用いた園芸施設内大気中農薬の捕集法の検討
○市原 勝¹、小原裕三²(¹高知農技セ、²農環研)

午後の部(13:30~16:15)

- 13:30 **B213** 多変量解析法を用いた近赤外分光法による製剤処方判別法の検討
○野口雅美、石原 悟(農林水産消費安全技セ・農薬検査部)
- 13:45 **B214** 農薬散布時に生成する微粒子に与える展着剤の影響
○小原裕三、與語靖洋(農環研)
- 14:00 **B215** リン酸アミド型有機リン剤の酸化的グルタチオン抱合
○船田吉昭、箕川 剛、宮本 徹(東京農大・生物応用化学)

午前の部 (9:00~11:45)

- 9:00 **C201** 病害・虫害被害を受けた農作物におけるアレルゲンの増大
○森山達哉¹、中島加菜子¹、大羽美香²、橘田和美²、川本伸一²、小南 優³、
河田照雄³、小川 正⁴、松中謙次郎⁵、河村幸雄¹ (¹近大院・農、²食総研、
³京大院・農、⁴関西福祉科学大・健康福祉、⁵青森植防)
- 9:15 **C202** *Nocardioides* 属細菌 2 菌株のトリアジン系除草剤に対する基質分解特異性
第1報 Triazine hydrolase 遺伝子(*trzN*)の塩基配列と基質特異性の関連性
○山崎健一^{1,2}、高木和広^{1,2}、藤井邦彦³、岩崎昭夫³、薩摩孝次⁴、原田直樹⁵、
内村 泰¹ (¹東京農大、²農環研、³興和(株)総研、⁴残農研、⁵新潟大・農)
- 9:30 **C203** *Nocardioides* 属細菌 2 菌株のトリアジン系除草剤に対する基質分解特異性
第2報 大腸菌で発現された野生型及びキメラ TrzN の基質特異性
○藤井邦彦¹、高木和広^{2,3}、薩摩孝次⁴、山崎健一^{2,3}、原田直樹⁵、岩崎昭夫¹
(¹興和(株)総研、²農環研、³東京農大、⁴残農研、⁵新潟大)
- 9:45 **C204** 農耕地周辺土壌における非イオン系界面活性剤分解菌の分子生態解析
細田晃文¹、天尾聡見¹、伊藤明代¹、植野こずえ¹、吉川博道²、○田村廣人¹
(¹名城大・農、²福岡工大・工)
- 10:00 **C205** 除草剤クロピラリドの堆肥化過程での消長
○江波戸宗大、上垣隆一、須藤まどか(畜草研)
- 10:15 **C206** 不確実性を考慮した農薬の確率論的生態リスク評価
～水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の評価スキームへの適用～
○永井孝志、稲生圭哉、横山淳史、岩船 敬、堀尾 剛(農環研)
- 10:30 **C207** 農薬による影響評価のための河川モデル生物膜の構築(第3報)
モデル生物膜の形成に対する除草剤アトラジンのEC₅₀
○林 昌平、井藤和人、巢山弘介(島根大・生資科)
- 10:45 **C208** 異なる作用機作を持つ除草剤がアオウキクサに及ぼす影響
異なる暴露期間における増殖阻害と影響からの回復性および共存する除草剤の
影響
○井藤和人、Munir Mohammad、巢山弘介(島根大・生資科)
- 11:00 **C209** 野外における有機りん系殺虫剤3剤の葉面残留量と天敵に対する影響
○長岡広行¹、柑本俊樹¹、舟木勇樹¹、八丁昭龍¹、及川雅彦¹、荻山和裕¹、
高橋義行¹、和田 豊¹、高木 豊² (¹日植防研究所、²日植防)
- 11:15 **C210** 有機化学物質の環境中動態に対する森林フェノロジーの影響評価
魏 永芬¹、西森基貴²、○小原裕三²、秋山 侃¹
(¹岐阜大・流域圏科研セ、²農環研)
- 11:30 **C211** 非農薬と称するスプレータイプの植物保護液「NEW 碧露」の殺虫活性
と有効成分
橋爪直樹、○本山直樹(千葉大院・園)

午後の部 (13:30~16:45)

- 13:30 **C212** 進化した蛾類昆虫が生産するエポキシアルケニル性フェロモンの生合成と
その制御機構
○安藤 哲、河合岳志、松岡可苗(東京農工大・BASE)

- 13:45 **C213** コナカイガラムシ (*Pseudococcus viburni*) の性フェロモンの合成
○橋本公佑、森田 暁、桑原重文 (東北大院・農)
- 14:00 **C214** マダラサソリ毒液に含まれる殺虫性ペプチドの単離・同定
坂井 暖、花井陽介、○宮下正弘、中川好秋、宮川 恒 (京大院・農)
- 14:15 **C215** 糸状菌 PF1364 株の生産する新規殺虫活性物質
○堀越 亮、土田麻里子、辻内 豪、尾山和彦、三富正明 (明治製菓 (株))
- 14:30 **C216** 養分条件がストリゴラクトン生産・分泌に与える影響
○米山香織¹、関本 均²、竹内安智¹、米山弘一¹
(¹宇都宮大・雑草科研セ、²宇都宮大・農)
- 14:45 **C217** 各種ストリゴラクトンの根寄生植物種子発芽誘導活性
○金 賢一、米山香織、謝 肖男、竹内安智、米山弘一
(宇都宮大・雑草科研セ)
- 15:00 **C218** キュウリが分泌する根寄生植物の発芽刺激物質
○謝 肖男^{1,2}、米山香織²、楠本 大²、金 賢一²、山田洋一³、竹内安智²、
米山弘一²
(¹東京農工大・院連合・農、²宇都宮大・雑草科研セ、³宇都宮大・教育)
- 15:15 **C219** ハマスゲ由来セスキテルペンケトン酸化誘導体の HPPD 阻害活性
小山育美、○森本正則、奥田博史、松田一彦、駒井功一郎 (近大院・農)
- 15:30 **C220** メチルジャスモン酸によってヒナタイノコズチ茎葉部から放出される
揮発性物質の特徴
○田母神 繁、鈴木成治、成田泰洋 (秋田県立大・生資科)
- 15:45 **C221** イネの病害応答におけるセロトニンの役割
○石原 亨^{1,2}、橋本由美^{1,2}、田中千尋¹、Joseph G. Dubouzet²、松田史生²、
西岡孝明¹、宮川 恒^{1,2}、若狭 暁^{2,3}
(¹京大院・農、²科技構CREST、³東京農大・農)
- 16:00 **C222** オオムギの防御物質ホルダチン類の細胞内局在と合成酵素活性の解析
○石塚晶啓¹、松川哲也²、石原 亨¹、西岡孝明¹
(¹京大院・農、²近大・生物理工)
- 16:15 **C223** 植物病原性放線菌メロンがんしゅ病菌の自己孢子発芽抑制物質
-構造活性相関と他種 *Streptomyces* 属菌に対する作用-
青木 友¹、吉田 政博²、川出 洋¹、安部 浩¹、○夏目 雅裕¹
(¹東京農工大・農、²九州東海大・農)
- 16:30 **C224** カフェ酸脱炭酸活性をもつ根面細菌の検索とその脱炭酸酵素遺伝子解析による
機能性解明
○橋床泰之、Albert Asante、内山博文、田原哲士 (北大・農学研究院)

午前の部(9:00~12:00)

- 9:00 **A301** コンビナトリアルケミストリー手法によって作製したランダムライブラリからの新奇エリシター活性ペプチドの発見
小田誠志、○宮下正弘、宮川 恒(京大院・農)
- 9:15 **A302** コンビナトリアルライブラリより見出した新奇エリシター活性ペプチドの構造と活性の関係
○小野友慈、宮下正弘、宮川 恒(京大院・農)
- 9:30 **A303** オーロン類の合成とハスモンヨトウ幼虫に対する摂食阻害活性
○大知淳之介、森本正則、福本浩美、濃添都紀、駒井功一郎(近大院・農)
- 9:45 **A304** マンゴスチン *Garcinia mangostana* 果皮由来のヤマトシロアリに対する摂食阻害物質
○福田祐介¹、森本正則¹、Oraphin Chantarasiwong²、Warinthorn Chavasiri²、駒井功一郎¹(¹近大院・農、²チュラロンコン大・理)
- 10:00 **A305** クロレラの耐凍性獲得に及ぼすルヌラリン酸の効果
○渡邊雄太、町田 豪、山田直隆、本城賢一、桑野栄一(九大院・農)
- 10:15 **A306** カロテノイド酸化開裂酵素を標的とした植物生長調節剤の開発
○北畑信隆^{1,2}、野地なつ美¹、中野雄司¹、吉田茂男¹、辻本雅文¹、浅見忠男^{1,2}(¹理研、²東大院・農生科)
- 10:30 **A307** 抗ジベレリン抗体を用いた植物の免疫学的成長調節に関する2つの様式の比較研究
○鈴木義人¹、浦上恵理子¹、山口五十磨²、浅見忠男¹
(¹東大院・農生科、²前橋工科大・工)
- 10:45 **A308** 乳化病菌 (*Paenibacillus popilliae*) を用いた製剤のコガネムシ類幼虫に対する効果
○松本健一¹、栗竹結花¹、大崎憲生¹、横山とも子²、伊東靖之²
(¹アグロ カネショウ(株)、²千葉農総研セ)
- 11:00 **A309** 細菌エンドファイト資材の圃場における効果
○安田美智子¹、伊沢 剛²、香口哲行³、栗崎弘利⁴、早川幸夫⁴、金井 理²、仲下英雄¹、篠崎 聡²
(¹理研・中央研、²前川製作所、³広島農技セ、⁴JAびばい)
- 11:15 **A310** 大腸菌で発現させたカラシナ由来ディフェンシン (Bj-AFP1) の抗菌薬剤としての可能性
○日比忠晴、栃原孝志、提箸祥幸、森 浩一、杉野 彩、森脇丈治、矢頭 治、川田元滋、平八重一之(中央農研)
- 11:30 **A311** *Talaromyces flavus* SAY-Y-94-01 株を用いた5種のイネ種子伝染性病害の生物防除
○能城こずえ¹、千田茂樹¹、尾川新一郎¹、岩上直子¹、藤 晋一²、石川成寿³
(¹出光興産(株)、²秋田県立大・生資、³栃木県農試)
- 11:45 **A312** チャ葉から分離されたバクテリアのチャ病害防除効力
○岡本陽子¹、村松正浩²、深野晶子¹、山口哲生¹、倉橋良雄¹、米山勝美¹
(¹明治大・農、²福寿園)

午前の部 (9:00~11:15)

- 9:00 **B301** 薬物排出に関わる P-糖タンパク質の基質認識機構
ーさまざまな農薬の構造と ATPase 活性との関係ー
○金岡怜志、木村泰久、中川好秋、植田和光、赤松美紀 (京大院・農)
- 9:15 **B302** 新規殺虫剤フルベンジアミド (フェニックス®) に関する研究 (第8報)
フルベンジアミドの動物代謝における性差および種差
○吉實隆志、恒光俊哉、元場一彦、井上和美 (日本農薬 (株) 総研)
- 9:30 **B303** 新規殺虫剤フルベンジアミド (フェニックス®) に関する研究 (第9報)
フルベンジアミドの土壌環境中での分解性
○高橋良典、元場一彦、井上和美 (日本農薬 (株) 総研)
- 9:45 **B304** 茨城県桜川流域における水稲用農薬の挙動
○岩船 敬、稲生圭哉、堀尾 剛、横山淳史、永井孝志 (農環研)
- 10:00 **B305** 河川流域における農薬および代謝分解物の挙動予測モデル (改良型 PADDY-Large) の開発 ー霞ヶ浦に流入する桜川流域への適用ー
○稲生圭哉、岩崎亘典、岩船 敬、横山淳史、堀尾 剛 (農環研)
- 10:15 **B306** Analysis of leaching process of bromide tracer in constructed micro paddy lysimeter
○Dang Quoc Thuyet, Thai Khanh Phong, Hiroataka Saito, Hirozumi Watanabe
(Tokyo Univ. Agric. Technol.)
- 10:30 **B307** Simulation of pesticide fate in a paddy field using micro paddy lysimeter
Dang Thi Tuyet Nhung¹, Thai Khanh Phong¹, ○Hirozumi Watanabe¹,
Kazuhiro Takagi², Satoru Ishihara³, Takashi Iwafune²
(¹Tokyo Univ. Agric. Technol., ²NIAES, ³FAMIC)
- 10:45 **B308** Simulation of pesticide wash-off from rice foliage in micro paddy ecosystem
○Thai Khanh Phong¹, Dang Thi Tuyet Nhung¹, Hirozumi Watanabe¹,
Kenichi Yamazaki^{2,3}, Kazuhiro Takagi^{2,3}
(¹Tokyo Univ. Agric. Technol., ²NIAES, ³Tokyo Univ. Agric.)
- 11:00 **B309** 過去に日本で使用された農薬のマルチメディアモデル(NIAES-MMM)による全
球規模の動態評価
○西森基貴¹、魏 永芬²、小原裕三¹ (¹農環研、²岐阜大・流域圏科研セ)

午前の部 (9:00~12:00)

- 9:00 **C301** カイコ幼若ホルモン結合タンパク質類縁遺伝子の網羅的発現解析
○下村 勝¹、小倉岳彦²、坪田拓也¹、中倉貴代¹、篠田徹郎¹、塩月孝博¹
(¹生資研、²京大院・農)
- 9:15 **C302** カイコ幼若ホルモンエポキシドヒドラーゼ類縁遺伝子の探索と機能の解析
○塩月孝博¹、清野 敦¹、小倉岳彦²、下村 勝¹、坪田拓也¹、中倉貴代¹、
譚 安江¹、三田和英¹、篠田徹郎¹ (¹生資研、²京大院・農)
- 9:30 **C303** ミトコンドリア電子伝達系阻害剤耐性菌の諸性質と各種薬剤の発病抑制効果
○石井英夫¹、James Fountaine¹、西村久美子¹、宮本拓也²、牛尾進吾³、
埋橋志穂美¹、加藤 寛¹ (¹農環研、²茨城農総セ・園研、³千葉農総研)
- 9:45 **C304** 赤色蛍光タンパク質 (DsRed2) 発現イネばか苗病菌と微生物資材 *Talaromyces* sp.
KNB-422 の識別
○加藤亮宏¹、三宅泰司²、堅石秀明²、寺岡 徹¹、有江 力¹
(¹東京農工大、²(株)クレハ)
- 10:00 **C305** cDNA サブトラクション法による抗菌剤 TF-991 によって発現誘導される
遺伝子群の探索
○船木敦子、泉津弘佑、田中千尋、宮川 恒 (京大院・農)
- 10:15 **C306** フェニルピロール系・ダイカルボキシイミド系殺菌剤が攪乱する灰色カビ病菌
(*Botrytis cinerea*) の浸透応答シグナル伝達経路の網羅的機能解析
○泉津弘佑、小林 甫、田中千尋 (京大院・農)
- 10:30 **C307** プロベナゾールの薬効発現におけるサリチル酸グルコシルトランスフェラーゼ
(SAGTase) の機能
○梅村賢司¹、佐藤潤次²、岩田道顕¹、安西弘行²、三富正明¹
(¹明治製菓(株)、²茨城大・遺伝子施設)
- 10:45 **C308** Oxaziclomefone 処理したイネにおけるタンパク質の発現変動解析
○八戸真弓¹、小松節子²、松本 宏¹ (¹筑波大院・生命環境科、²作物研)
- 11:00 **C309** 新規除草剤 KIH-485 の作用機構 酵素阻害及び標的分子の探索
○種谷良貴、角康一郎、河合 清、藤岡智則、清水 力 (クミアイ化学工業(株))
- 11:15 **C310** インドール-3-酢酸代謝の植物種間差
○中村俊介¹、森脇隆仁¹、甲斐建次²、宮川 恒¹
(¹京大院・農、²大阪府大院・生命環境科)
- 11:30 **C311** シロイヌナズナにおけるジベレリン受容体 AtGID1 の解析
○鈴木浩之¹、井内 聖²、金 永千¹、上口-田中美弥子³、山口五十磨⁴、
松岡 信³、小林正智²、中嶋正敏¹、浅見忠男¹
(¹東大院・農生科、²理研BRC、³名大・生物機能開発セ、⁴前橋工科大・工)
- 11:45 **C312** 代謝プロファイル分析を用いたイネ擬似病斑誘導関連遺伝子 *OsATI* の機能予測
○松田史生¹、森 昌樹²、斉藤和季¹ (¹理研・植物科研セ、²生資研)